

公表

事業所における自己評価総括事表

○事業所名	コトモビレッジ楓校		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との連携を大切に、信頼関係を築いている。	対象園児の行動観察を綿密に行い、具体的なフィードバックを提供している。	幼稚園の先生方や保護者様と定期的に情報交換を行い、支援の方向性を確認・共有する機会を増やす。
2	訪問前の会議では情報共有を丁寧に行っている。	幼稚園の先生方の意向や教育方針を尊重しながら支援を進めている。	訪問ごとの記録をより詳細に残し、支援の経過を振り返ることで、対象園児の成長をよりの確に把握できるようにする。
3	保護者様に対し、具体的な成功例や課題点を伝えることで、安心感を提供している。	保護者様が幼稚園の取り組みを理解しやすいよう、言葉を選びながら丁寧な説明を行っている。	幼稚園の先生方や保護者様と共に支援計画の見直しを行い、より効果的な支援方法を模索する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園との情報共有を強化する仕組みづくり	情報収集や保育園との調整に時間がかかる場合がある。	訪問後の振り返りの仕組みを強化し、先生方と具体的な改善策を話し合う機会を増やす。
2	1～2時間の訪問では、本児の1日の流れすべてを把握することが難しく、支援の方向性を決めるのに十分な情報が得られない場合がある。	訪問時間の制約による支援の限界	訪問支援員が適切に対応するためには、事前の情報収集が必要。
3	訪問支援員の人数や担当の偏りにより、一人ひとりの負担が大きくなる場合がある。	人員配置・サポート体制	人員配置の見直しや、サポート体制の強化を検討する。